
独立機動隊

ON I Y H I T O R I

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

独立機動隊

【コード】

N9496L

【作者名】

ON I Y H I T O R I

【あらすじ】

機動六課解散後、新たに作られた対テロ部隊
機独立機動隊

魔法少女リリカルなのはStriker'sの半年後が舞台の完全
オリジナルストーリー

思想無き犯罪（前書き）

魔法少女リリカルなのはStriker'sの半年後が舞台の完全オリジナルストーリー！下手くそな文であることをご理解頂いたうえで、閲覧してくださいm(_____)m

思想無き犯罪

機動七課

古代遺失物操作兼、過激な反社会的組織に対し攻勢な部隊
通称、独立機動隊

その部隊の高層ビルのオフィスのイスに座る男がいた
名はゼクス ローラン

髪は肩まで伸ばし日の光を浴びて銀色に光っている。顔は若く、成人して間もないだろう。

その部屋に呼びだし音が響いた

「入れ」

ゼクスはやつと来たかと思っていると、扉が開く

入り口には赤髪の男が立っていた

彼は何も言わずにデスクの前に立った

神代 蓮 赤髪赤眼で歳はゼクスと同じか若いぐらいであろう顔つきだ

正真正銘の男だが女顔のため良く間違えられる

「用件はなんだ？」

彼は少しめんどくさそうな態度で言う。ゼクスは手馴れた様子でかえす

「仕事だ」

彼は茶色のファイルを蓮に渡した

「最近連続して起きている模倣事件を知っているか？」

蓮はファイルを取りゼクスを見た。

彼の眼は獲物を見つけた鷹のように鋭い

「ああ、有名だからな。犯人は必ず誰かの犯行を模倣する。発生した事件には殺人以外の何の関連性も無く、殺された被害者にも共通点はなし。しかも、非公開の部分まで完璧に再現している。確か公安局もお手上げな事件だろ？」

「そつだ。今回はその犯人の逮捕、もしくは殺害だ」

蓮は眼を細め眉を曲げゼクスを見た

「こつという事件は俺達の管轄じゃないだろ？」

「今まではな」

彼は机の上に置いてあるリモコンを壁に向ける。すると壁の一部が左右に開き、大きなスクリーンが現れた

ボタンを押すと画面が光、映像映る

「昨夜、刑事裁判官の金山 武の自宅が全焼した。原因は不明。遺体は発見されたが、損傷がひどく、検死報告待ちだ」

映像に映しだされたのは洋風作りの立派であつただろう家は灰になり、柱が申し訳なく残つていた

「一ヶ月前に起きた放火と同じ時間、同じ出火場所、同じ公務員という職業、そして裁判の時非公開だつた遺書まであつた。カイトに燃烧促進剤を詳しく調べさせているが基本的な成分も同じ物だそうだ」ゼクスはデスクに肘を寄せ手を組み、それに顔を近づけた

「

「金山は裁判官として有名人だ。マスコミには情報が既に漏れている。もちろん『奴』のこともな。上は余計な混乱を避けるため、私達に捜査して欲しいそつだ」

「つまり、無能な管理局や執務官には手に負えないから。やってくださいってか？」

蓮は腰に手を当ててため息をついた

「確かに面倒な事件だが、元から私達の管轄になりそつな案件だからな」

「どついうことだ？」

「金山は最近、麻薬や質量兵器を売りさばく大きな組織のナンバー2を有罪にしたそつだ。実際、裁判前には色々と脅迫紛いなこともあつたらしい」

「なるほど、見せしめにするために『奴』の名を使つたか、もしくは本人がいるのか。どちらにせよ捜査する意欲が湧いてきたよ」

蓮は背を向け部屋を出て行った

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9496/>

独立機動隊

2010年10月13日17時24分発行